



PTA会報

蒼天の翼

第28号

PTA 調査広報委員会

2011.7.1

題字 小野早百合



力を合わせて



ご挨拶

PTA会長 千葉 喜章

新年度になって早三か月が経過しますが、去る五月十二日の総会で役員体制も決まり今年度の活動が始まりました。この一年どうぞよろしくお願いいたします。

このたびの大地震は、未曾有の被害をもたらした津波で壊滅的な打撃を受けました。犠牲になられた方々にお悔みを申し上げますとともに、被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます。本校PTAとしても、県内被災地の高校生へ義援金を贈ることを総会で了承いただきました。今回は第一弾でこれからも復興に向け支援を重ねていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

さて、今年度のPTA事業につきましては、各委員会の取り組みに加え、新たに「ケータイの連絡網サービス」を導入することにしました。以前から要望があったことで、災害時の連絡網確保やPTA活動の推進に役立てたいと思っております。本会の予算は厳しいながらも、皆様のご意見を事業に反映させたいと思っておりますので、積極的なご参加をよろしく願っています。

高校生を持つ親にとって最も心配なことは、子どもたちの進路ではないかと思えます。なんとか希望の進路を実現させたいのですが、就職難に追い討ちをかける大震災となりました。この難局を乗り越えるために、基礎学力は勿論、コミュニケーション能力や、物事を考え抜く力などのいわゆる「社会人基礎力」が求められています。それは、学校は勿論、家庭や地域全体で育まれるものではないかと思えます。もうひとふんばり、子どもたちをしっかりと鍛え、世に送り出してやりましょう。それが、やがてわが国の復興の原動力となる子どもたちの親としての役目ではないかと思えます。